資料１

「北九州市上下水道事業検討会」について

１ 目　的

水道事業及び下水道事業の中期経営計画の各事業を着実に推進するとともに、堅実な事業運営を行うため、下記の事項について、外部の視点からの客観的・専門的な助言や意見を頂き、事業運営の参考とする。

（１）中期経営計画の進捗管理
（２）主な事業の取組状況　など

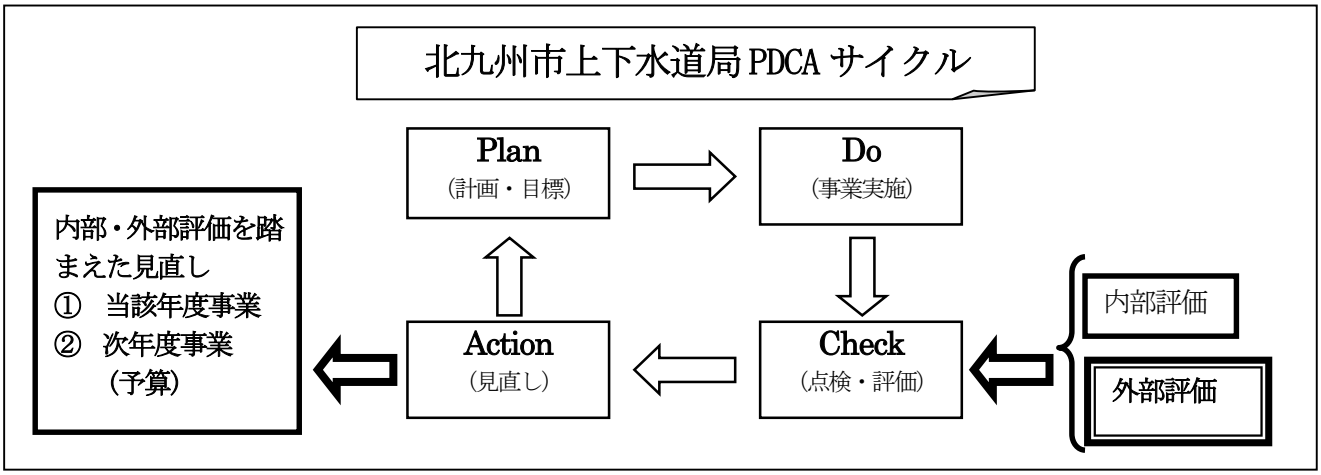
２　会　議

（１）原則年２回開催する。
（２）事業の進捗管理、主な事業の取組状況、決算、予算等を説明し討議する。

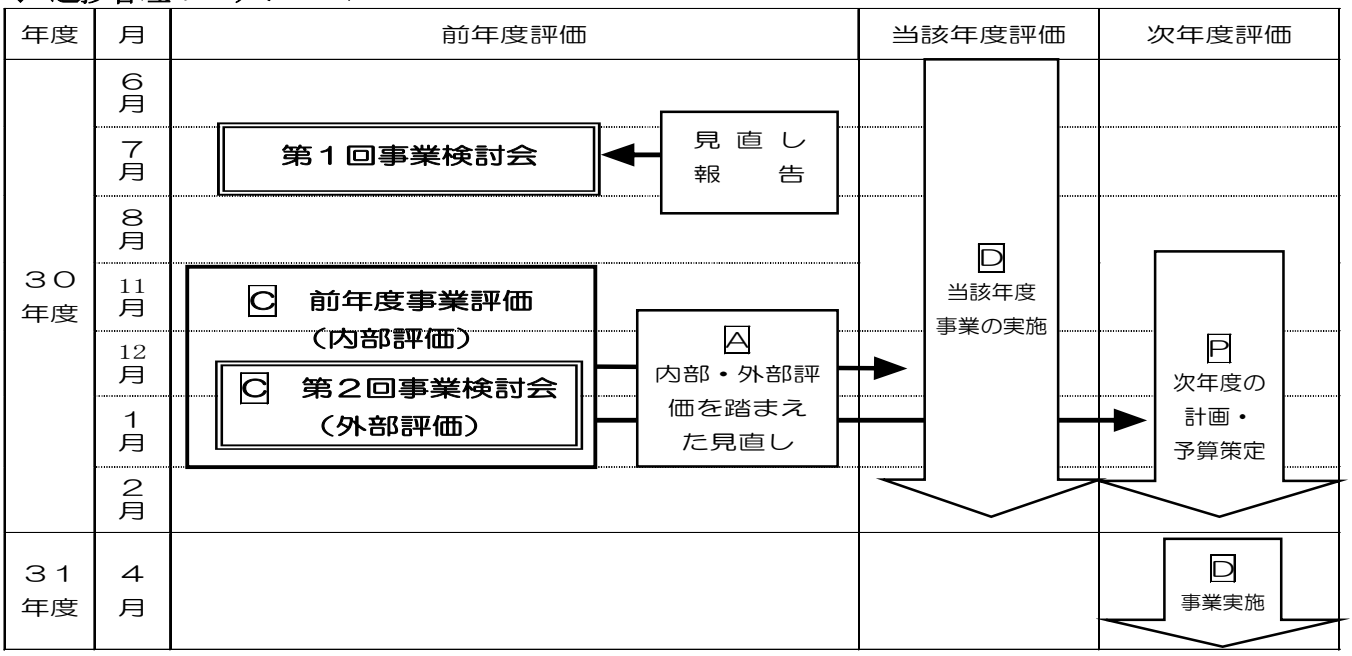
◆ 事業の進捗管理

中期経営計画の進捗管理は、ＰＤＣＡサイクルを用いて内部及び外部評価をする。

（１）Ｐｌan【計画・目標】：中期経営計画に基づき各事業の目標を設定
（２）Do　【事業実施】　：目標の実現に向け事業を推進
（３）Check【点検・評価】：事業の進捗を把握し内部及び外部評価を実施
（４）Action【見直し】　：内部・外部評価を踏まえた事業を見直し改善策を策定
当該年度事業及び次年度事業（予算）に反映。



◆ 進捗管理のスケジュール



資料２

平成３０年度予算について

【経営方針】

上下水道局では、平成２８年４月に策定した「北九州市上下水道事業中期経営計画（計画期間：平成２８～３２年度）」に基づき、着実に事業を推進することで市民サービスの水準を確保しつつ、福岡県内で一番安価な上下水道料金を維持するように努めます。

また、平成３０年度は下水道事業が１００周年を迎えるため、様々なイベント等を通じ、これまでの下水道の歩みを振り返るとともに、次の１００年へとつなげていく契機とします。

■　重点的に取り組むもの
- ○ 災害等の危機管理対策
- ○ 経年化施設の長寿命化・更新
- ○ 安全・安心でおいしい水の供給
- ○ 環境負荷の低減
- ○ 国内外に貢献する上下水道

【主要事業】

（１）災害等の危機管理対策

大規模な災害などが発生した場合でも、安全で安定的な給水や下水処理を行えるよう、防災・減災の観点から、施設の耐震化やバックアップ機能の強化を推進します。また、近年の集中的な豪雨に起因する浸水被害の危険性が高まっていることから、浸水に対する安全度の向上を図ります。

拡充　**■水道の震災対策推進事業**　６，２５３，６１２千円
（うち拡充分３９５，３２０千円）

地震などの災害に対して、災害に強いライフラインを構築するため、水道管路や浄水場・配水池の耐震化を計画的に行い、送水管の２条化整備などによるバックアップ機能の強化にも取り組みます。また、昨年度の熊本地震等の経験から、災害時の応急給水活動の重要性を改めて認識したため、新たに給水車を購入します。

- **・浄水場・配水池の耐震化**　331,131 千円
  穴生浄水場や別所配水池の耐震化工事など
- **・水道管路の耐震化**　5,135,383 千円
  配水管等の耐震化
- **・バックアップ機能の強化**　695,420 千円
  井手浦系配水本管　　L＝180m　など
- ・応急給水能力の向上　91,678 千円
  給水車の購入、応急給水施設整備工事

継続

■下水道の震災対策推進事業　　２，３００，０００千円

地震などの災害に対して、被害を最小限にし、早期に機能回復が図れる災害に強いライフラインを構築するため、ポンプ場の耐震化を計画的に実施するとともに、避難地・防災拠点等に接続する重要な管渠の耐震化にも取り組みます。

・下水道管渠の耐震化　　2,002,671 千円

東本町一丁目地内他管渠更生、東水町大手町主要幹線管渠更生
山路幹線管渠更生、本城北幹線（その８）管渠更生　など

・ポンプ場の耐震化　　297,329 千円

浅野町ポンプ場耐震補強、城野ポンプ場耐震補強　など

継続

■豪雨対策推進事業　　２，１７０，０００千円

近年の集中的な豪雨など雨の降り方の変化により、市内でも浸水被害の危険性が高まっていることを踏まえ、雨に強いまちをつくるため、浸水被害を最小化し、浸水に対する安全度の向上を図ります。

昭和町雨水貯留管、沼南雨水幹線（その５）、
天籟寺初音町主要幹線、潮入川雨水幹線　など

継続

■寒波対策事業　　７，６６２千円

－２℃以下の寒波予報が出された場合に、高台地区にある空き家の元栓を閉めます。加えて、宅地内水道管の点検・診断業務を漏水調査に併せて行い、未然に漏水を防止します。

・空き家漏水防止対策
・宅地内水道管の点検・診断業務

（２）経年化施設の長寿命化･更新

高度経済成長期に整備した施設の多くが更新時期を迎えることから、可能な限り長寿命化を図ります。また、更新に際しては、将来需要を考慮しながら、施設規模と機能の最適化を図り、重要度・優先度を踏まえた効率的・計画的な更新を行います。

拡充

■水道施設の改築更新事業【一部再掲】　　６，９４７，４８６千円
（うち拡充分３３２，９８６千円）

経年劣化が進んでいる導送配水管や電気・機械設備機器等の浄水施設の更新を計画的に行います。

・配水管等の更新《再掲》　　5,135,383 千円

配水管更新（L=50.0km）、導送水管更新（L= 2.25km）

・浄水施設等の更新　　1,812,103 千円

本城浄水場および穴生浄水場中央監視制御設備更新工事　など

拡充

■工業用水道施設の改築更新事業　　８４４，９１６千円
（うち拡充分１３１，５５９千円）

経年劣化が進んでいる工業用水道管や電気設備等の更新を行うとともに耐震化を推進し、安定給水の向上を図ります。

継続

■下水道施設の改築更新事業　　３，７００，０００千円

財政的制約の中で、下水道の機能を将来にわたり、安定かつ継続的に確保するため、下水道施設を適切に維持管理し、施設の状況を的確に把握しながら、適宜施設の改築更新を進めます。

北湊浄化センター２系沈砂池機械設備改良
藤田ポンプ場高圧他電気計装設備改良
皇后崎浄化センター着水井・流入水路防食　など

（３）安全･安心でおいしい水の供給

いつでも安全で良質な水道水をお届けできるよう、水源水質の保全や直結給水の普及促進などに取り組みます。

継続

■アクアフレッシュ事業　　１６，０００千円

子供たちの直接蛇口から水を飲む文化を育むため、市立小中学校等の直結式給水への切り替えを促進します。

継続

■遠賀川の水質改善対策　　９，６００千円

遠賀川流域の水質・環境の改善を図ることを目的とする住民団体等による環境保全活動などに対して支援を実施します。

（４）環境負荷の低減

水や資源の循環と低炭素化を進め、より良い環境づくりに貢献します。

拡充

■合流式下水道の改善推進　　２，４００，０００千円
（うち拡充分１００，０００千円）

下水道法施行令で定められた期限（平成 35 年度末）までに放流先の汚濁負荷を分流式下水道並みに軽減し、良好な水環境をつくります。

牧山川雨水幹線、西本町地内、槻田二丁目地内、
東中島ポンプ場滞水池
夾雑物対策（槻田川流域、黒崎地区等）　など

拡充

■省エネルギー対策整備事業　　５６，３０４千円
（うち拡充分２６，８２５千円）

省エネ機器の導入や送水ポンプの適正化などにより、エネルギーロスを減らし消費電力の削減を図ります。

・送水ポンプ等更新工事　など

継続

■水道メーター再資源化事業　　３，０００千円

本城リサイクルプラザを活用し、使用できなくなった水道メーターを分解・選別した上で、再資源化を図ります。

（５）国内外に貢献する上下水道

本市の持つ高い上下水道技術を積極的に国内外で活用するとともに、上下水道事業の広域化や海外水ビジネスを通じて、国内外の上下水道に関する課題解決や地域産業の振興に貢献します。

拡充

■水道事業の発展的広域化　　１，０９１，８６７千円

（うち拡充分１２２，８９３千円）

発展的広域化による連携を推進するため、連携中枢都市圏「北九州都市圏域」や水道用水供給先の水道事業者等を対象に、広域連携の検討などを進めると同時に、広域化についてのセミナーを開催します。

平成 28 年度から開始した宗像地区事務組合の水道業務の包括受託では、引き続き、宗像地区事務組合の負担で水道施設の運転や維持管理、料金徴収などを実施します。

・宗像地区水道施設維持管理等業務委託
・水道広域セミナー　など

拡充

■海外事業の展開　　１８２，５１０千円

（うち拡充分２１，５４９千円）

アジアを中心とした国や地域への職員派遣や、海外からの研修員受け入れによって、現地の技術者の育成に貢献するとともに、国際技術協力を通じて、本市職員の技術の継承や実務能力の向上などの人材育成にも寄与します。

また、「㈱北九州ウォーターサービス」や「北九州市海外水ビジネス推進協議会」との連携を図り、地元企業の水ビジネス展開を積極的に支援します。併せて、水ビジネスの国際戦略拠点を活用し、地元企業の技術・製品を国内外に広く情報発信します。

継続

■下水道 100 周年記念事業　　４２，２００千円

北九州市の下水道は、大正７年に旧若松市で事業を開始し、平成３０年に１００周年を迎えます。これまでの１００年を振り返り、市民の下水道事業に対する理解と協力に感謝するとともに、次の１００年につなげるために「北九州市下水道１００周年記念事業」を実施します。

記念事業を通じて、市民の皆様に下水道の役割や重要性について理解を深めてもらうため、市民参加型のイベント等を行い、広く下水道事業をＰＲします。

また、全国から多くの方が来場する「下水道展 ’１８北九州」を誘致し、北九州市の魅力を全国に発信します。

・「下水道１００周年記念式典」、「下水道展 ’１８北九州」、「国際会議」、「デザインマンホールを活用した下水道 PR」　など

平成３０年度予算

【水道事業】

（単位：百万円）

項目		29年度予算（A）	30年度計画（B）	30年度予算（C）	前年度比（C）－（A）	計画比（C）－（B）
収益的収支	収入 ①	20,552	20,027	20,119	△ 433	92
	料金収入（原水除く）	15,557	15,420	15,533	△ 24	113
	その他	4,995	4,607	4,586	△ 409	△ 21
	（うち宗像地区水道事業収益）	1,012	981	1,091	79	110
	支出 ②	19,303	19,324	19,507	204	183
	人件費（宗像分除く）	2,717	2,971	2,683	△ 34	△ 288
	維持管理費	3,193	3,250	3,083	△ 110	△ 167
	減価償却費等	7,875	7,875	8,252	377	377
	企業債利息	1,108	1,083	1,008	△ 100	△ 75
	その他	4,410	4,145	4,481	71	336
	（うち宗像地区水道事業費）	967	940	1,089	122	149
	収支差引 ③（①－②）	1,249	703	612	△ 637	△ 91
資本的収支	収入 ④	5,710	5,703	5,801	91	98
	企業債	3,823	3,498	3,961	138	463
	補助金	1,030	1,000	1,039	9	39
	その他	857	1,205	801	△ 56	△ 404
	支出 ⑤	13,456	13,812	13,732	276	△ 80
	施設整備費	8,270	8,479	8,445	175	△ 34
	企業債償還金	3,238	3,201	3,270	32	69
	その他	1,948	2,132	2,017	69	△ 115
	差引過不足 ⑥（④－⑤）	△ 7,746	△ 8,109	△ 7,931	△ 185	178
補填財源 ⑦		7,544	7,602	7,274	△ 270	△ 328
資金収支	単年度資金収支 ⑧（⑥＋⑦）	△ 202	△ 507	△ 657	△ 455	△ 150
	累積資金剰余 ⑨	5,711	4,392	5,054	△ 657	662
	基金残高 ⑩	1,991	1,602	1,992	1	390
	累積資金剰余（基金含む）⑨＋⑩	7,702	5,994	7,046	△ 656	1,052

企業債残高	60,195	61,874	60,886	691	△ 988

平成３０年度予算

【下水道事業】

（単位：百万円）

項目		29年度予算（A）	30年度計画（B）	30年度予算（C）	前年度比（C）－（A）	計画比（C）－（B）
収益的収支	収入 ①	28,284	27,861	28,711	427	850
	下水道使用料	15,382	15,158	15,373	△ 9	215
	一般会計繰入金	6,501	6,408	6,254	△ 247	△ 154
	その他	6,401	6,295	7,084	683	789
	支出 ②	27,942	28,069	28,553	611	484
	人件費	1,031	1,192	1,180	149	△ 12
	維持管理費	5,932	5,908	6,054	122	146
	減価償却費等	16,703	16,772	16,479	△ 224	△ 293
	企業債利息	2,883	2,895	2,606	△ 277	△ 289
	その他	1,393	1,302	2,234	841	932
	収支差引 ③（①－②）	342	△ 208	158	△ 184	366
資本的収支	収入 ④	12,924	11,805	11,710	△ 1,214	△ 95
	企業債	6,209	5,833	5,821	△ 388	△ 12
	補助金	4,173	4,230	3,905	△ 268	△ 325
	その他	2,542	1,742	1,984	△ 558	242
	支出 ⑤	24,344	22,602	22,701	△ 1,643	99
	施設整備費	11,488	11,300	10,770	△ 718	△ 530
	企業債償還金	9,583	8,306	8,406	△ 1,177	100
	その他	3,273	2,996	3,525	252	529
	差引過不足 ⑥（④－⑤）	△ 11,420	△ 10,797	△ 10,991	429	△ 194
補填財源 ⑦		11,065	10,789	10,941	△ 124	152
資金収支	単年度資金収支 ⑧（⑥＋⑦）	△ 355	△ 8	△ 50	305	△ 42
	累積資金剰余	2,576	2,154	2,526	△ 50	372

企業債残高	161,693	161,190	159,108	△ 2,585	△ 2,082

平成３０年度予算

【工業用水道事業】

（単位：百万円）

項目		29年度予算（A）	30年度計画（B）	30年度予算（C）	前年度比（C）－（A）	計画比（C）－（B）
収益的収支	収入 ①	1,846	1,890	1,897	51	7
	料金収入	1,550	1,595	1,600	50	5
	その他	296	295	297	1	2
	支出 ②	1,595	1,571	1,622	27	51
	人件費	224	222	211	△ 13	△ 11
	維持管理費	319	301	312	△ 7	11
	減価償却費等	604	622	633	29	11
	企業債利息	57	55	46	△ 11	△ 9
	その他	391	371	420	29	49
	収支差引 ③（①－②）	251	319	275	24	△ 44
資本的収支	収入 ④	358	239	386	28	147
	企業債	227	123	256	29	133
	補助金	45	45	45	0	0
	その他	86	71	85	△ 1	14
	支出 ⑤	1,191	1,146	1,281	90	135
	施設整備費	818	705	910	92	205
	企業債償還金	234	207	207	△ 27	0
	その他	139	234	164	25	△ 70
	差引過不足 ⑥（④－⑤）	△ 833	△ 907	△ 895	△ 62	12
補填財源 ⑦		627	714	657	30	△ 57
資金収支	単年度資金収支 ⑧（⑥＋⑦）	△ 206	△ 193	△ 238	△ 32	△ 45
	累積資金剰余 ⑨	1,568	1,292	1,330	△ 238	38

企業債残高	2,291	2,608	2,340	49	△ 268

■中期経営計画実施事業設定目標一覧

中期経営計画の目標			設定目標	最終目標年度	最終成果目標	H30 成果目標（累計もしくは単年度）	H30 取組内容（単年度）
施策番号 重点施策		実施事業					
(課題１)　災害等の危機管理対策 ～安全で快適な暮らしを支えます～							
1 震災対策の拡充・強化	01	浄水場・配水池の耐震化	浄水施設耐震化率	H３２	59.2%	33.2%	穴生浄水場施行２箇所
			配水池耐震施設率	H３２	54.1%	50.0%	別所配水池　施工 皿山配水池実施設計
			危険箇所整備	H３２	３箇所	３箇所	施工1箇所
	02	水道管路の耐震化	基幹管路の耐震化率	H３２	47.6%	45.9%	導送水管2.25ｋｍ 配水管50ｋｍ
			災害拠点病院（7箇所）への配水管の耐震化	H３２	完了	工事施工（60.9%）	工事施工（47.2%）
			初期給水拠点（17箇所）への配水管の耐震化	H３２	10箇所	工事施工（47.5%）	工事施工（7.8%）
	03	バックアップ機能の強化	安定給水向上人口（井手浦系ループ化）	H３２	12.3万人	0万人 工事施工（76.9%）	0万人 工事施工（28.1%）
			安定給水向上人口（小森江系２条化）	H30	5.9万人	5.9万人 工事施工（100%）	0万人 工事施工（64.3%）
	04	浄化センター・ポンプ場の耐震化	ポンプ場の耐震化	H３６	６箇所	６箇所	６箇所
	05	下水道管渠の耐震化(特に緊急性の高い管渠)	第１期計画107ｋｍの耐震化	H２９	完了	－	－
			第２期計画	H２９	策定	－	－
			第２期計画に基づく耐震化	H３０～H３２	実施	6km	6km
	06	災害時における機能確保の推進(マンホールトイレの整備等)	マンホールトイレ整備	H３２	各区１箇所程度	5箇所	3箇所
			圧送管の２系統化	H３２	完了	払川ポンプ場から東中島ポンプ場計画策定	払川ポンプ場から東中島ポンプ場計画策定
2 豪雨対策の拡充・強化	01	浸水被害の最小化	雨水整備率	H３２	73.0%	72.4%	0.3%
	02	合流地区の治水安全度の向上	過去に浸水が発生した地区の雨水整備	H３２	10地区	3地区	2地区
	03	小倉都心部の重点整備	供用開始	H３２	５地区	3地区	1地区
			水防活動訓練	毎年度	１回	1回	1回
3 危機管理体制の充実・強化	01	事故対応能力の向上	模擬事故訓練（局全体１回、水道２回、下水道２回）	毎年度	実施	実施	実施
			危機管理研修（水道３回、下水道１回）	毎年度	実施	実施	実施
			寒波対策の充実	毎年度	実施	空き家の漏水防止対策	宅地内水道管点検・診断 空き家の漏水防止対策
	02	応急給水能力の向上	配水管整備	H３２	７箇所	設計施工３箇所	設計施工2箇所
			仮設水槽	H２９	40個	40個	0個
			非常用飲料水袋（６ﾘｯﾄﾙ）	H３２	50,000枚	42,000枚	9,000枚
	03	ハードを活かすソフト施策の充実（ＩＴ技術の活用等）	効果検証、全市への適用を評価 浸水シミュレーション	H３２	実施	実施	実施

■ 共通事業　■ 水道事業　■ 下水道事業

■中期経営計画実施事業設定目標一覧

中期経営計画の目標			設定目標	最終目標年度	最終成果目標	H30 成果目標（累計もしくは単年度）	H30 取組内容（単年度）
施策番号 重点施策		実施事業					
(課題２)　経年化施設の長寿命化・更新 ～将来にわたって使い続けられるように、上下水道の機能を維持します～							
1 アセットマネジメント手法を活用した効率的・計画的な更新	01	上下水道施設の長寿命化	浄水場施設の長寿命化	H３２	６箇所	補修・３箇所	補修・３箇所
			配水池の長寿命化	H３２	５箇所	劣化調査5箇所	劣化調査2箇所
			下水道管の点検・調査	毎年度	平均90ｋｍ	平均９０ｋｍ	90km
			浄化センター・ポンプ場第２期計画	H２８	策定	－	－
			浄化センター・ポンプ場第２期計画に基づく補修・補強	H３２	実施	実施	実施
	02	水道・工業用水道施設の改築更新	導送水管更新	H３２	11.3ｋｍ	4.65ｋｍ	2.25ｋｍ
			配水管更新	H３２	250ｋｍ	150.9ｋｍ	50ｋｍ
			工業用水道管更新	H３２	5.1ｋｍ	4.98km	2.18km
			浄水場設備更新	H３２	実施	更新計画に基づき工事施工	更新計画に基づき工事施工
			中央監視制御設備更新	H３２	完了	１箇所起工	伊佐座排水処理場入出力装置更新工事起工
			配水管理システム更新	H３０	完了	完了	サーバー整備 ソフトウェア作成 路上局の改良
	03	下水道施設の改築更新	大口径管の更新	H３２	8.7ｋｍ	6.3ｋｍ	2.7ｋｍ
			小口径管の更新	H３２	91.9ｋｍ	62.1ｋｍ	31.4ｋｍ
			長寿命化計画に基づく設備機器更新	H３２	実施	実施	実施
2 有収率向上対策	01	漏水防止対策の推進	漏水率	H３２	6%以下	6%以下	配水管更新50ｋｍ/年 調査延長3,700ｋｍ/年
			漏水発見件数	毎年度	1,000件	1,000件	
	02	配水ブロックの改善	低区配水ブロックへの編入	H３２	５地区	2地区	2地区
			小森江系配水ブロックの再編	H３２	9.0ｋｍ削減	更新対象管路延長の削減0.5km ブロック再構築	ブロック再構築
(課題３)　安全・安心でおいしい水の供給 ～いつでも安全で良質な水道水をお届けします～							
1 水源から蛇口までの水質向上	01	遠賀川の水源水質改善	流域活動団体への支援	毎年度	４０団体	40団体	40団体
			関係機関への提案	毎年度	２提案	2提案	2提案
	02	水源林の保全	水源地での植樹・育樹活動（市民参加人数）	毎年度	480人以上	480人以上	480人以上
	03	安全でおいしい水対策	水安全計画の運用、残留塩素低減化	毎年度	実施	平均残留塩素濃度からみたおいしい水達成率80%以上	平均残留塩素濃度からみたおいしい水達成率80%以上
2 蛇口から新鮮な水を飲める水道	01	直結式給水の普及促進	３階以上の直結式給水率	H３２	49%	45%	2%
			直結式給水の実施（学校）	H３２	５校以上	４校	2校
	02	小規模貯水槽水道の管理指導	管理指導	毎年度	1,000件以上	1,000件以上	1,000件以上

■ 共通事業　■ 水道事業　■ 下水道事業

■中期経営計画実施事業設定目標一覧

中期経営計画の目標			設定目標	最終目標年度	最終成果目標	H30 成果目標（累計もしくは単年度）	H30 取組内容（単年度）
施策番号 重点施策		実施事業					
(課題４)　環境負荷の低減 ～水や資源の循環と低炭素化を進め、より良い環境づくりに貢献します～							
1 環境にやさしい保全活動の推進	01	水源林の保全（再掲）	水源地での植樹・育樹活動（市民参加人数）	毎年度	480人以上	480人以上	480人以上
	02	合流式下水道の改善推進	合流改善達成率	H３２	77%	68.7%	14.2%
			桜町北湊雨水貯留管	H３０	供用開始	供用開始	工事竣工
			東中島ポンプ場雨水滞水池	H３１	供用開始	供用開始	工事竣工
			第４期合流式下水道緊急改善計画	H３０	策定	第４期計画策定	第４期計画策定
	03	宅地内の分流化の促進	宅地内排水設備の切替促進	毎年度	実施	実施	実施
	04	水質監視強化（放流負荷量の削減等）	放流水質の基準違反	毎年度	0件	0件	0件
			事業場立入指導件数	毎年度	200件以上	200件以上	200件以上
			管理対象化学物質（47物質）の実態把握	毎年度	実施	実施	実施
	05	地区の特徴を踏まえた水循環の再生（街なかの水辺再生等）	雨水調整池の整備	H３２	２箇所	１箇所	工事起工
2 地球温暖化対策・資源のリサイクル事業の推進	01	自然エネルギーの活用	水道の再生エネルギー利用率	毎年度	1.5%以上	1.5%以上	1.5%以上
	02	省エネルギーの推進	［水道］電力使用量	毎年度	過去５年平均以下	過去5年平均以下	過去5年平均以下
			［下水道］エネルギー消費（H１８比）	H３２	10%削減	9.4%削減	0.1%削減
	03	汚泥の有効利用	汚泥の有効利用率の維持	毎年度	100%	100%	100%
	04	直結式給水の普及促進（再掲）	３階以上の直結式給水率	H３２	49%	45%	2%
			直結式給水の実施（学校）	H３２	５校以上	4校	2校

共通事業　水道事業　下水道事業

■中期経営計画実施事業設定目標一覧

中期経営計画の目標			設定目標	最終目標年度	最終成果目標	H30 成果目標（累計もしくは単年度）	H30 取組内容（単年度）
施策番号 重点施策		実施事業					
(課題５)　国内外に貢献する上下水道 ～高い技術やノウハウを活用し、国内外に貢献します～							
1 本市が持つ技術力・経験を活かした国際貢献	01	上下水道技術の国際協力	研修員受入人数	毎年度	255人	255人	255人
			職員派遣人数	毎年度	20人	20人	20人
	02	海外水ビジネスの推進	海外水ビジネスの受注と地元企業の振興	毎年度	推進	推進	推進
			海外水ビジネスを通じた国際貢献	毎年度	推進	推進	推進
	03	外郭団体等の更なる活用（再掲）	市内企業、（株）北九州ｳｫｰﾀｰｻｰﾋﾞｽとの一層の連携強化	毎年度	推進	推進	推進
2 多様な形態による広域連携	01	上下水道事業の発展的広域化	包括業務委託の受託	毎年度	継続	受託継続	受託継続
			技術研修などへの周辺自治体職員の受入	毎年度	実施	実施	実施
			多様な形態による広域連携の検討・協議	毎年度	実施	水道広域セミナー等開催	水道広域セミナー等開催
			汚水処理などの実現可能性の調査	H32	１都市程度	検討中	検討中
	02	外郭団体等の更なる活用（再掲）	市内企業、（株）北九州ｳｫｰﾀｰｻｰﾋﾞｽとの一層の連携強化	毎年度	推進	推進	推進
3 地域に親しまれる上下水道	01	お客さまに開かれた広報・広聴活動の推進（施設開放、モニター、環境学習支援等）	お客さま満足度（お客さまアンケート調査）	Ｈ３１	75%以上	－	－
			お客さま満足度（上下水道モニターアンケート調査）	毎年度	80%以上	80%以上	80%以上
			お客さまからの苦情件数の減少率（H26比）	毎年度	５%以上	５%以上	５%以上
	02	産学官連携による研究開発の推進	［水道］効率的な漏水探知システムの開発	Ｈ３２	実施	実証実験の実施	実証実験の実施
			［下水道］企業等との共同研究など	Ｈ３２	５件以上	9件	3件
	03	下水道100周年記念事業	下水道展誘致など	Ｈ３０	実施	記念事業の実施	記念事業の実施

■ 共通事業　■ 水道事業　■ 下水道事業

■中期経営計画実施事業設定目標一覧

中期経営計画の目標			設定目標	最終目標年度	最終成果目標	H30 成果目標（累計もしくは単年度）	H30 取組内容（単年度）
施策番号 重点施策		実施事業					
(課題６)　収支バランスを踏まえた経営基盤の強化 ～事業を支える「人・モノ・カネ」の経営基盤の強化に努め、安価な料金を維持します～							
1 効率的な事業運営	01	施設規模の最適化	［水道］最適化の施策を計画に反映	Ｈ３２	実施	将来水需要予測を検証	将来水需要予測を検証
			［下水道］国土交通省の同意取得	Ｈ３２	実施	－	－
	02	上下水道施設の長寿命化（再掲）	浄水場施設の長寿命化	Ｈ３２	６箇所	補修・２箇所	補修・２箇所
			配水池の長寿命化	Ｈ３２	５箇所	劣化調査5箇所	劣化調査2箇所
			下水道管の点検・調査	毎年度	平均９０ｋｍ	平均９０ｋｍ	90km
			浄化センター・ポンプ場第２期計画	Ｈ２８	策定	－	－
			浄化センター・ポンプ場第２期計画に基づく補修・補強	Ｈ３２	実施	実施	実施
	03	経費の節減（支払利息の軽減等）	経費節減（H27比）	Ｈ３２	９億円以上	13.7　億円	13.7　億円
	04	外郭団体等の更なる活用	市内企業、（株）北九州ｳｫｰﾀｰｻｰﾋﾞｽとの一層の連携強化	毎年度	推進	推進	推進
2 多様な収入の確保	01	上下水道の資産・資源の有効活用	収入増（H27比）	Ｈ３２	約１億円	1.0　億円	1.0　億円
	02	上下水道事業の発展的広域化（再掲）	包括業務委託の受託	毎年度	継続	受託継続	受託継続
			技術研修などへの周辺自治体職員の受入	毎年度	実施	実施	実施
			多様な形態による広域連携の検討・協議	毎年度	実施	水道広域セミナー等開催	水道広域セミナー等開催
			汚水処理などの実現可能性の調査	H32	１都市程度	検討中	検討中
	03	水道・工業用水道利用促進対策	新規・増量開拓件数	Ｈ３２	５件以上	５　件	１　件
3 職員の育成と活用	01	上下水道技術の継承・人材の育成	表彰制度の活用	毎年度	５名以上	５名以上	５名以上
			職員資格取得度	Ｈ３２	2.0件/人	2.0件/人	2.0件/人

■ 共通事業　■ 水道事業　■ 下水道事業

資料3

北九州市下水道100周年記念事業

事業の目的

北九州市の下水道は、大正７年に旧若松市で事業を開始し、平成３０年に１００周年を迎える。

これまでの１００年を振り返り、市民の下水道事業に対する理解と協力に感謝するとともに、下水道事業に協力していただいた皆様の「思い」や「技術」を引き継ぎ、次の１００年につなげるために「北九州市下水道１００周年記念事業」を実施。

記念事業を通じて、衛生環境や水環境の改善、浸水対策など下水道がこれまで果してきた役割や重要性について理解を深めてもらうため、市民参加型のイベント等を行い、広く下水道事業をＰＲ。また、全国から多くの方が来場する「下水道展‘１８北九州」を誘致し、北九州市の魅力を全国に発信。

平成30年度事業内容

◆ 下水道100周年記念式典及び講演会（平成30年7月23日）

国や関係団体等下水道事業関係者を招き、本市下水道１００年の歴史を振り返り、次の１００年につなげることをテーマとした記念式典及び、市民を対象とした講演会を開催。あわせて「ポスターコンテスト」の表彰式を実施。

◆「下水道展‘18北九州」（平成30年7月24～27日）

１００周年を記念して、全国から約４万人が参加する下水道展（主催：日本下水道協会）を誘致。下水道の最新の技術や機器の展示会や研究発表会、本市の PR ブース等を設置し、本市の取組みを全国に発信。

◆「国際会議」（平成30年7月25日）

本市が下水道技術協力を進めているベトナム、カンボジア、インドネシアをはじめ国内外から広く関係者を招き、海外事業の更なる推進を目指す国際会議を開催。（国交省、ＪＩＣＡと共催）

◆ デザインマンホールを活用した下水道 PR

人気が高まっているデザインマンホールを活用した PR イベント等を実施。

・マンホールサミット開催（平成３０年１１月３日）
・マンホールスタンプラリー
・松本零士氏デザインマンホール設置セレモニー

◆ 下水道パネル展、広報関係

区役所、ショッピングセンターにおけるパネル展、新聞・雑誌、交通機関等への広告掲載、ホームページの製作、各種イベントにおける啓発ノベルティの作成。

北九州市下水道100周年記念事業（平成29～30年度）

項目			日程	場所	実施済
【歴史を振り返り、市民とともに祝う】					
1	デザインマンホール設置	ギラヴァンツ北九州	H29.8.19	ミクニワールドスタジアム	○
2		銀河鉄道999	H30.5.19	小倉駅周辺及び 北九州空港	○
3		下水道発祥の地「若松」	H30.7.21	若松区中川通り周辺	
4		ポスターコンテスト最優秀作品	H30.7.23	各区役所周辺	
5	下水道100周年記念式典		H30.7.23	国際会議場	
6	下水道パネル展	100年の歩み展示会を開催	H30.1～8	市内各所 (各区役所等)	○
7	ポスターコンテスト	市内小学4年生を対象に募集	H29 H30.7.23式典で表彰	―	○
8	下水道100周年記念誌、PR映像	100年の歴史をとりまとめた記念誌、映像	H30	―	
【下水道の役割を伝える】					
9	紫川周辺の水辺体験イベントと連携した下水道PRブースを出展	下水道の日啓発イベント (紫川フェスティバル)	H29.8.20	勝山公園	○
10		紫川カヌー体験でのPR	H29.8～10 H30.7～10	紫川周辺	○
11	桜町北湊雨水貯留管の見学会を実施		H29.9～10	若松区	○
12	浄化センター、ポンプ場の見学会を実施		H29.11 H30.5,H30.10	浄化センター	○
13	親子ふれあい教室	親子で下水道の役割を学ぶ教室を開催	H29.8 H30.8	浄化センター	○
14	「下水道感謝際」	北九州一中津ウォーキングの ゴール地点でPRブースを出展	H29.10.14	勝山公園	○
15	マンホールスタンプラリー	デザインマンホールを巡るスタンプラリー	H30.7～11	市内各所	
16	マンホールサミット	下水道広報プラットホームによる 全国サミットを誘致	H30.11.3	北九州芸術劇場 小倉城周辺	
17	マンホール広場整備	デザインマンホールを活用した広場を整備	H30.7	日明浄化センター	
18	スイッピー学校訪問授業	小学校で下水処理の特別講義	H29.11～H30.2	市内小学校	○
【未来へつなげる】					
19	「下水道展’18　北九州」の開催		H30.7.24～27	西日本総合展示場 及び国際会議場	
20	国際会議	海外諸都市を招き 国やJICA等関係機関と連携	H30.7.25	国際会議場	
21	記念講演会	下水道100周年記念式典と あわせて実施	H30.7.23	国際会議場	

TO THE NEXT 100 YEARS

北九州市下水道100周年記念事業

100TH ANNIVERSARY PLOJECT

つなげよう次の100年へ

～下水道がつくる豊かな水・まち・暮らし～

北九州市の下水道事業は、1918年（大正7年）に始まり、2018年（平成30年）に事業開始から100周年を迎えました。そこで、これまでの100年を振り返り、下水道事業に協力していただいた皆様の「思い」や「技術」を引き継ぎ、次の100年につなげるために「北九州市下水道100周年記念事業」を実施します。

イベントのお知らせ

IT IS AN ANNOUNCEMENT OF EVENTS

7.23 [Mon]

下水道100周年 記念講演会・式典

場所／国際会議場メインホール

●13:30ー記念講演会 講師：さかなクン
●16:00ー記念式典　●17:30ーレセプション

記念講演にさかなクンを講師として招き、市民にお魚の正しい知識や下水道の役割・重要性をわかりやすく伝えます。記念式典、レセプションでは下水道功労者への表彰、ポスターコンテスト表彰（デザインマンホールお披露目）、五平太ばやしなど、皆様の協力に感謝し100周年をお祝いします。

東京海洋大学名誉博士
さかなクン

下水道展'18北九州

場所／西日本総合展示場

●10:00-17:00（初日会館 10:30 最終日閉館 16:00）

下水道事業管理者の地方公共団体等を対象に、全国の下水道関連企業（団体）の技術開発の成果等に基づいた下水道に関する技術・機器等を展示紹介します。一般市民に向けて体験展示アトラクションのオール九州・下水道コーナーを設置し下水道事業の理解を深めるイベントも同時に実施します。

7.24~27 [Tue] [Fri]

7.25 [Wed]

国際会議 in 北九州

場所／北九州国際会議場 メインホール

下水道国際シンポジウム in Kitakyushu（主催：北九州市、JICA）

●15:15-17:15

SDGsの目標達成に向け、下水道ができることは何かを東京大学の沖大幹氏に講演いただきます。また北九州市と関わりの深い海外都市の下水道実務者を招待し、各都市の水環境の現状や今後の展望を共有し、これまでの本市の技術協力の成果と今後の取り組みについて議論します。

東京大学教授 沖 大幹 氏

100 YEARS OF TECHNOLOGY AND EXPERIENCE

IT IS AN ANNOUNCEMENT OF EVENTS

イベントのお知らせ

11.3 [Sat]

マンホールサミット北九州2018

場所／北九州芸術劇場 中劇場、小倉城周辺

●9:00-17:00（イベントの内容は変更になる場合があります。）

全国から多くのファンが来場する「マンホールサミット」が九州初開催。リレートークやマンホール展示会、マンホールスタンプラリー、北九州下水道PRブースの設置など、人気が高まっているデザインマンホールを活用し、下水道事業のPRとともに北九州市の魅力を発信します。

第6回マンホールサミット 2017 埼玉の様子（約 3,000 名が参加）※GKP ホームページより

DESIGN MANHOLE

100周年記念デザインマンホールの設置

松本零士氏の代表作「銀河鉄道999」がデザインマンホールに

「ポップカルチャーの街・北九州」×「下水道」コラボ企画として松本零士氏の代表作「銀河鉄道999」と連携したデザインマンホールを小倉駅周辺に9種類、北九州空港に1種類の計10箇所設置しました。下水道をより身近に感じてもらい、その役割や重要性について理解を深めてもらうとともに、まちのにぎわいづくりにつなげています。

設置場所などの詳細は HP から ▶ https://www.suidou.city.kitakyushu.lg.jp/gesui100/event/detail15.html

下水道ポスターコンテスト 最優秀賞作品がマンホール蓋に

市内の小学4年生を対象に、下水道をテーマにしたポスターコンテストを開催し、最優秀賞作品（各区1点、計7点）は、マンホール蓋のデザインとして採用し、各区役所周辺に設置します。（H30.7予定）

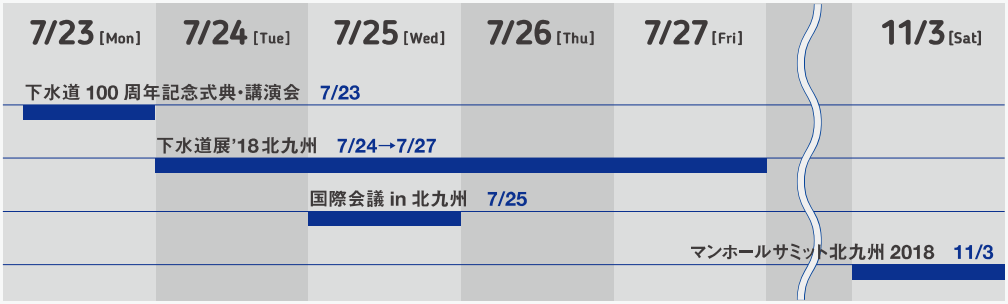
下水道発祥の地 若松区の特色をデザイン

下水道発祥の地若松区のくきのうみ花火大会や五平太ばやしなどの特色を活かしたデザインマンホールを、若松区中川通り周辺の歩道に設置します。（H30.7予定）

近日公開！

EVENT SCHEDULE

イベントスケジュール



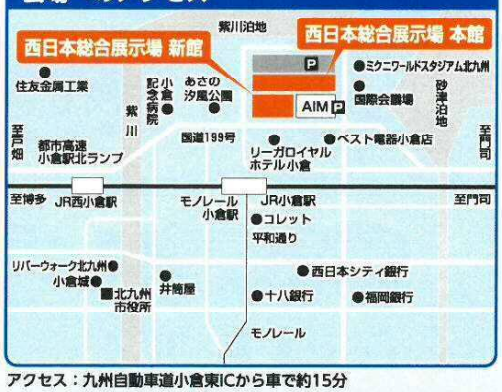
SEWAGE WORKS EXHIBITION

下水道、くらしを支え、未来を拓く

下水道展'18 北九州

入場無料

会場へのアクセス



アクセス：九州自動車道小倉東ICから車で約15分

7.24(火)～27(金) 4日間 西日本総合展示場［福岡県北九州市］

10:00～17:00

（但し、初日開館 10:30　最終日閉館 16:00）

主催：公益社団法人 日本下水道協会

後援：国土交通省、環境省、経済産業省、文部科学省、全国知事会、全国市長会、全国町村会、福岡県、北九州市、日本下水道事業団、日本経済新聞社、TVQ九州放送（予定）

協賛：公益財団法人下水道新技術機構、公益財団法人北九州観光コンベンション協会など関係約60団体（予定）

オール九州・下水道コーナー（パブリックゾーン内に出展）

下水道の役割や仕組みをわかりやすく紹介した「展示コーナー」、「九州各県ご当地グルメ」、「さまざまな体験コーナー」が目白押し！

出展自治体（九州管内の16自治体）

- 北九州市
- 福岡県
- 福岡市
- 久留米市
- 佐賀市
- 長崎市
- 大村市
- 熊本市
- 玉名市
- 苓北町
- 大分市
- 宮崎市
- 鹿児島市
- 霧島市
- 沖縄県
- 那覇市

事前来場登録で 豪華なプレゼントが当たる！

1等 Google Home
声で便利に。スマートスピーカー by Google
Google Home は、Google LLC の商標です。

2等 3D VRゴーグル 400-MEDIVR7（iPhone/Androidスマホ対応）

3等 Amazonギフト券 1,000円分

1. 本キャンペーンは公益社団法人日本下水道協会による提供です。本キャンペーンについてのお問い合わせはAmazonではお受けしておりません。公益社団法人日本下水道協会キャンペーン事務局［03-5777-8600］までお願いいたします。2. Amazon、Amazon.co.jp およびそのロゴは Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。

併催行事

第55回下水道研究発表会

7月24日(火)▶26日(木) 3日間
西日本総合展示場AIM 3階
参加有料 一部無料

第33回下水道都道府県セミナー

1日目 7月26日(木)
2日目 7月27日(金)
西日本総合展示場AIM 3階
参加有料

5月上旬より事前来場登録を開始▶ 事前来場登録して来場いただくと抽選で記念品をお渡しします。

事前来場登録はこちらから www.gesuidouten.jp/

展示会に関するお問い合わせ　ハローダイヤル 03-5777-8600［2018年5月14日から8月3日まで］　下水道展 検索

会場にて
九州のマンホール
カードをプレゼント!!
※一定の条件を満たした場合に配布いたします。

入場無料

スイスイ下水道研究所
オール九州・下水道コーナー

イメージキャラクター
「ゲスイレンジャー」

自分が主役!
体感型展示アトラクションをぜひ体験しよう!

会　場 本館・中展示場

研究ノートを持って下水道に関するミッションをクリアして街を、自然を守るゲスイレンジャーになろう!他にもいろいろ!楽しさ盛り沢山!

- ◆ ステージゾーン　：楽しいステージプログラムが連日開催
- ◆ 工作・実験ゾーン：「マンホール蓋の缶バッチをつくろう!」
  「水のボールをつくろう!」
  「顕微鏡で微生物を観察しよう!」など

出展自治体：北九州市・福岡県・福岡市・久留米市・佐賀市・長崎市・大村市・熊本市・玉名市・苓北町・大分市・宮崎市・鹿児島市・霧島市・沖縄県・那覇市(16自治体)

「研究ノート」プレゼント

夏休みの宿題もこれでオーケー!!
※参考イメージ

水辺の生き物が見られるよ!
協力:福岡県立北九州高等学校 魚部(ぎょぶ)

おもてなしサイト

グルメ!文化!観光!
九州の魅力を大紹介!

会　場 イベント広場

- ◆ 九州各県のご当地グルメコーナー
- ◆ 北九州PRコーナー&ステージ

小倉焼きうどん

宮崎地鶏炭火焼き

鹿児島しろくま

※写真はイメージです。メニューは変更になる場合がございます。

屋外コーナー

子どもから大人まで!
楽しいアトラクションがいっぱい!

会　場 あさの汐風公園

- ◆ 佐賀から熱気球がやってくる!
- ◆ 出発進行!ミニ新幹線 運行(100円/一人1回)
- ◆ 地震を体験してみよう(地震体験車)など

※天候により中止になる場合がございます。

ステージゲスト

動物モノマネ
江戸家小猫

2018ミス日本「水の天使」
浦底里沙

会場MAP

2018
7.24(火)～7.27(金) 10:00～17:00
初日開館10:30 / 最終日閉館16:00

会場：西日本総合展示場(福岡県北九州市)

詳しくは下水道協会HPをご覧ください　下水道展2018　検索

資料4

門司区清見一丁目の道路陥没事故を受けた下水管の緊急点検結果について

１　道路陥没の原因

・平成３０年３月２７日（火）に門司区清見一丁目で発生した道路陥没事故の原因は、道路下に埋設している下水管のコンクリートが硫化水素により腐食し、損傷した箇所から、土砂が下水管内へ流出し道路陥没が発生したもの。

２　緊急点検の概要

・今回の事故と同様な箇所で、硫化水素による腐食のおそれが大きい市内全域の下水管のうち、平成３０年度以降に点検を実施する予定であった１８．８ｋｍを対象に、**目視による簡易的な緊急点検**を４月中旬から実施し**５月末までに完了した。**

３　緊急点検の結果

・即時に対策工事が必要な箇所はなかった。

・下水管の磨耗や侵食など、**腐食の可能性が見受けられたのは３．４ｋｍ**であった。

４　今後の取組

・この３．４ｋｍについて、**ＴＶカメラによる詳細調査**を進めており、**８月末には詳細調査が完了する予定**である。

・詳細調査の結果に基づき、補強工事等の対策が必要な箇所を検討したうえで、緊急対策を実施する。

緊急点検状況

管内状況（マンホールより目視）

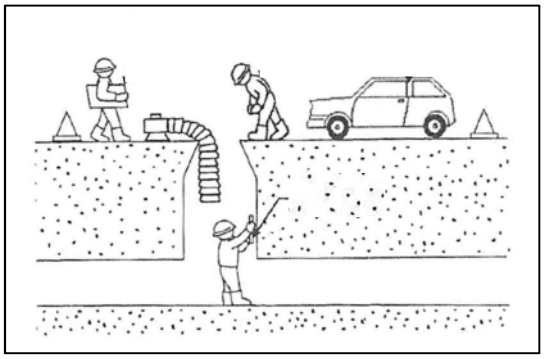
下水管の点検方法について

○緊急点検から緊急対策までの流れ

調査対象箇所について**緊急点検**を行い、必要な箇所は**詳細調査**を実施する。
詳細調査で異常があった箇所は、**緊急対策**を実施する。

【緊急点検】

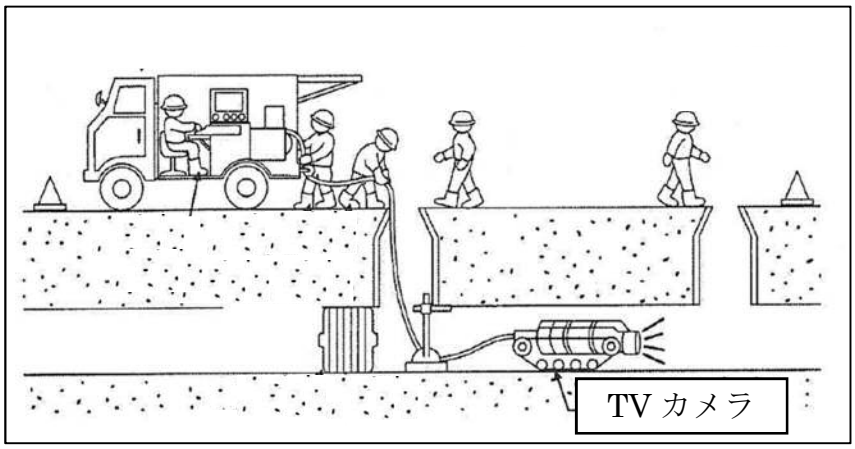
目視調査：マンホール内に入り、内部及び下水管を目視により調査する方法。



目視調査イメージ

【詳細調査】

TV カメラを用いて、腐食、破損、クラックなどの劣化状況、たるみ、堆積物の有無など、詳細状況を把握する調査。



TV カメラ調査イメージ